

土 建 第 2 9 2 号

平成20年10月9日

国土交通省

道 路 局 長 様

八千代市長 豊 田 俊 郎



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、
別添のとおり回答致します。

1. 道路行政全般について

①生活の基盤となる社会資本の整備の中でも、道路整備は重要な課題のひとつであると考えますので、人口減少・高齢化などの社会的な背景を踏まえた、真に必要とされる道路については着実に整備されることを望みます。

②街路事業では「くらしのみちゾーン・トランジットモール」事業により、中心市街地への一般車両の利用を制限し、公共交通機関の利用促進を図る施策があります。また、外国では通勤時間帯における交通渋滞対策として種々の政策が展開されております。

つきましては、通勤時間帯における交通渋滞対策として、公共交通機関の利用促進を図るために通勤に要する交通費等の手当を支給するに当りましては、実費相当額ではなく公共交通機関利用促進費として何割かを上乘せする制度（案）について、法制化するなどの道路行政政策を提案いたします。

③都市計画道路の計画において、人口減少・高齢化などの社会的な背景等を踏まえて、地域性や交通需用推計などを基礎にしたうえで、既存の都市計画決定された道路の見直しや廃止等について、法制化を含め検討する必要があると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②ー１ 地域の現状と抱える課題

千葉県八千代市

○現状 ①当市においては、国道16号や国道296号が市内を縦断しており、地域間を結ぶ市道は国道と平面交差のため分断され、交通渋滞が大きな問題となっております。 ②当市においては、鉄道による南北地域の分断化が問題となっております。	○課題 ①単に都市活動の円滑化を図るばかりでなく、環境問題の面でも大変重要であり、バイパス事業の促進や都市計画道路事業及び立体交差などの交差点改良事業の積極的な推進が課題と考えます。
---	---

- ・都市計画道路や土地区画整理の整備による密集市街地を解消し、災害時に対応できる道路を造る。
- ・「あんしん歩行エリア」や「くらしのみちゾーン」を推進し歩行空間の整備や無電柱化推進による安心・安全・快適な道路を造る。
- ・国道や鉄道との平面交差を立体交差などにより、渋滞解消・走行時間の短縮・沿道環境対策に対応できる道路を造る。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

千葉県八千代市

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・総合的な交通安全対策 ・地域の快適性、利便性の向上 ・地域社会への影響		・歩行空間確保 ・歩行者を巻き込む事故減少 ・交通渋滞対策 ・歩行空間確保 ・沿道環境対策 ・走行時間の短縮 ・環境対策 ・災害対策 ・地域経済の向上 ・アクセスの向上	